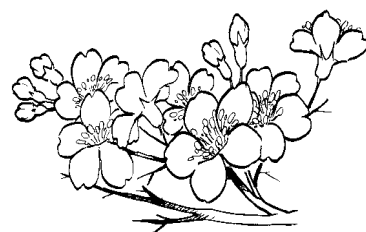


進路だより



2025 年 10 月 20 日
第 17 号

◆学校推薦を考えている人たちへ

学校推薦が必要なのは、道内では一部の私立高校のみです。道内公立高校や道内高専は、自己推薦に移行しています。

さて、学校推薦とは、その学校（学科）や学業に対する強い興味と関心を持ち、かつ適性があり、そこでの学習に強い意欲をもっている生徒の個性をいっそう伸ばし、希望進路の実現を援助することにあります。書類審査による校内推薦委員会の審査（学習面・生活面・人物面）を経て、中学校長の推薦を受けての出願となっています。高校入学後は、北野中学校の推薦生徒としての重みと責任を3年間背負う（高校から期待される）ことになります。

- ①10月22日（水）～10月30日（木）の間に担任に申し出て、学校推薦の要件に当てはまるか（学力テストで何点ぐらい取ればよいかなど）など、相談確認します。
- ②生徒に「推薦依頼書」を配付します。学力Cを受け、保護者の欄を記入し11月6日（木）までに提出します。（この間何度も書き直し、見直しをしてください。）
- ③資料等をもとに、中学校では推薦の可否を検討する校内推薦委員会を開き、会議を通過した生徒は校長面接を受けます。その後推薦の可否を中学校長が決定します。

◆道内公立高校の自己推薦を考えている人たちへ

自己推薦書は、教育委員会のホームページからダウンロードできます。昨年度は11月下旬にアップロードされました。今年度版のものも11月下旬にはアップロードされると思われます。新しい自己推薦書がアップロードされるまでは、昨年度のものを見て参考にしてください。

中学校では、自己推薦書の誤字脱字チェックはしますが、内容についての指導は行いません。ただ、自己推薦書についての考え方は、説明しておきます。

また、自己推薦を希望する人には「自己推薦に向けて」を配付します。受け取ったら早めに記入して提出します。

自己推薦とは、自分で自分を推薦するものです。その高校へ強い志望動機を持ち、入学後もその高校での活躍が期待される生徒が望まれます。

また、「入学者の受入れに関する方針（スクールポリシー）」に合致している生徒であることも求められます。教育委員会のホームページや高校のホームページに掲載されていますので、自己推薦を考えている人は必ず見てください。「北海道教育委員会（または札幌市教育委員会）高校入試」などの検索で、出てきます。

今回は「入学者の受入れに関する方針（スクールポリシー）」の一例を挙げておきます。例えば、「札幌厚別高校」では、以下のような生徒を求めています。

「札幌厚別高校」

次の全てを満たす生徒

- 1 将来の夢を持ち、それに向かって意欲的に学習に取り組む生徒
- 2 学校行事、生徒会活動、部活動、地域社会との交流等、様々な活動に積極的に取り組む生徒
- 3 人や文化・芸術の多様性を理解し、地域・他者とのつながりを大切にできる生徒

「全てを満たす生徒」とありますので、この3つの内容にいかに合致している生徒か書くことが大事です。

将来の夢に向かっていかに意欲的に学習しているのか、学校行事をはじめとした様々な活動にいかに積極的に取り組んでいるのか、そして人や文化・芸術の多様性を理解し、いかに地域・他者とのつながりを大切にしているのか。なかなか難しいですね。

これまで頑張ってきた様々な経験を、具体的に述べながら「こういうところが高校の求める生徒像に合っている！」と書くことが必要です。将来なりたい職業が決まっていて、そのためにこんな勉強を前向きに取り組んでいた、地域社会に積極的に出て行って、ボランティア活動をしていたり、人とのつながりを大切にしているエピソードだったり……。自分の経験を振り返って、どの経験が自己推薦に生かせるか考えましょう。さらに過去のことだけでなく、高校入学後も活躍していける生徒だと感じさせられる文章がよいでしょう。

自己推薦書の書式に変更がなければ、例年求められる記入に、志望理由や、各教科や総合的な学習の時間における学習について自分が特にアピールしたいことや、学校内外の諸活動について自分が特にアピールしたいことがあります。学習面で頑張ってきたこと、生徒会活動やボランティア活動、資格取得で取り組んだことなど、自分の今までの経験を高校生活でいかに生かせるのかアピールしましょう。

また、作文が行われる高校もあります。過去の一例を挙げてみます。

「札幌平岸高校」普通科普通コースの推薦入試 作文

「廊下の幅が2倍になったらどんなことが起きると思いますか。どんな活動がしたいですか。先生がそれを問題としたらどのように対応しますか。」

こちらは、過去に受検した卒業生の情報によるものです。伝え聞きですので、もしかするとニュアンスが多少異なるかもしれませんが、お題は当日その場で発表されたとのこと。400字を40分で書かないといけません。

自己推薦制度により、受検の機会が増えた気がしますが、自己推薦受験の準備、一般の受験勉強の二本立てで行わなければならないです。

学校推薦、自己推薦いずれにしても、なぜ推薦なのかがきちんと説明できることが大切です。